

ここがポイント！ものづくりの基本スキルを習得する

中核人材育成塾 2022

岐阜高専地域連携協力会 主催

ベーシック
コース
全7日
7講座

私達のものづくり現場（職場）は、高品質・低コスト・短納期を達成するのみならず安全活動、コンプライアンスやセキュリティ、さらには個々人のスキルの錬磨等多岐にわたる課題に直面しており、これらに対してリーダーシップを発揮して果敢に挑戦する中核人材の育成が優先テーマとなっています。

「ベーシックコース」では、これまでの講座を再編して新たに2講座を加えてものづくりを支える基本的な考え方、日々発生するモヤモヤ感や問題の捉え方、取り組み方、カイゼン手法等について、かみ砕いた解説と演習を通して皆さんと一緒に考えます。

第1回 4月6日（水）

現場リーダーの
スキル向上計画

第2回 4月28日（木）

職場の安全活動
推進と管理

第3回 5月19日（木）

5Sから始める
職場の見える化

第4回 6月16日（木）

明日から使える
品質管理の基礎と実践

第5回 7月14日（木）

現場でおさえる
原価・在庫の知識

第6回 8月25日（木）

LEGO®ブロックで
遊びながら学ぶ作業改善

第7回 9月22日（木）

職場コンプライアンスと
情報セキュリティの基礎

対象 ものづくり現場のリーダー（中核人材）の皆様 経験年数5～10年程度

定員 各講座30名（1社複数名も可）
講座単位の受講も可能です。

時間 9:30～16:30 6時間（9:00から受付）

会場 岐阜工業高等専門学校（図書館内 多目的ホール他） 本巣市上真桑2236-2

講師 ものづくりについての豊富な経験や知識を有する岐阜高専産学官連携アドバイザー（岐阜高専OB）が務めます。

参加費 各講座共、1講座につき1名 8,000円（地域連携協力会会員は5,000円）
受講申込と同時に協会入会の場合は会員価格を適用します。

（年会費10,000円、但し、入会時年会費は入会月から12月末までの月数×1,000円）
詳細 岐阜高専地域連携協力会HP <https://www.gifu-nct.ac.jp/cooperative/>



申込期限 各講座開催日の3週間前まで

申込方法 下記のリンク先か、右のQRコードからのみの受付とさせていただきます。
<https://forms.office.com/r/gTyak1U0sn>

変更方法 お申し込み後の変更は下記の岐阜高専地域連携協力会事務局へご連絡ください。
TEL 058-320-1213 FAX 058-320-1240 E-mail: kenkyu@gifu-nct.ac.jp



研修後のフォローアップ：ご希望により「逆スクーリング制度（フォローアップ）」を実施します。
講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。（有料）

1

職場で活躍するためのスキルをさらに磨こう 現場リーダーのスキル向上計画

4/6(水)
9:30~16:30
図書館 多目的ホール
(予定)

ものづくりの現場で働くリーダーには、部品加工や組立てに必要な専門スキル、生産品のQC/D目標達成に必要な品質管理・原価管理・生産管理等のスキルの他、リーダーとしてチームを牽引するヒューマンスキルが求められます。本講座では、受講者が自分の業務に必要な様々なスキルを個人ワークやグループワークを通じて見える化し、会社に戻って上司と相談しながら、自分が強化すべきスキルの習得の計画を立てる方法を学びます。講座冒頭では、本育成塾全体の講座の案内もします。

講師 中居 仁司

事務機メーカーで複写機の開発設計とタグチメソッドの社内普及活動に従事。電機メーカーに転職後はレーザープリンターの研究開発と製品化を担当。研究開発・製品化・生産立上げ・開発企画を幅広く経験。退職後は岐阜高専産学官連携アドバイザーや、キャリアコンサルタントとして活動中。専門分野：品質管理、金属材料、人材育成、キャリア開発

1. イントロ・会社と自分の関係を考える

- 1 中核人材育成塾の講座全体の紹介
- 2 会社の存在目的、組織・方針展開とは
- 3 会社と従業員の関係はどうあるべきなのか
- 4 なぜ自分は今の会社で働いているのか

3. 働く意味を考える

- 1 自分は何のために働くのか
- 2 モチベーションの源泉とは
- 3 自分の仕事上の失敗を振り返る
- 4 成功と成長のちがいを

2. 現場リーダーの仕事と必要なスキル

- 1 社会人基礎力とは
- 2 リーダーシップとは
- 3 リーダーに求められる能力・スキル
- 4 チームの生産性を最大にするポイント

4. リーダーとして成長する為の行動計画

- 1 仕事の意味付けと“したい化”
- 2 Will/Can/Mustの輪を見る化
- 3 リーダーに求められるスキルの自己評価
- 4 スキル向上のための行動計画の立案

2

身近な労働災害から、自らを守ろう 職場の安全活動 推進と管理

4/28(木)
9:30~16:30
図書館 多目的ホール
(予定)

仕事・作業で危険と感じたことはありませんか？私たちの職場には様々な危険が潜んでいます。どの職場でも「安全第一」とスローガンは掲示されていますが、自らの職場は何となく安全だと思い込んでいませんか。安全で安心して仕事・作業を行うにはどうしたら良いのでしょうか。本講座では皆さんと職場に潜む災害を認知し、自らや同僚が災害に遭わない、災害を起こさない、さらに未然に防止するにはどのように行動することが大切かを災害事例や体感より学びます。

講師 今井 正則

自動車部品製造会社で自社用専用設備の設計・製作や生産ラインの設備投資企画を担当。品質ISO9001・環境ISO14000・安全衛生管理システムの内部監査員を務め、しくみ・体制の構築やモノづくり全般の現場改善を推進。安全管理者として設備の本質安全と安全で快適な職場づくりに取り組む。現在はシニアアドバイザーとして後進の育成に従事。

1. 職場での安全とは

- 1 安全は全てに優先する
- 2 なぜ安全が大切なのかを知ろう
- 3 安全と安心の意味の違い

2. 労働安全衛生法とは？

- 1 労働者は法律で守られている
- 2 事業者には労働者の安全を守る義務がある

3. 職場での安全衛生活動とは？

- 1 安全衛生委員会の主な活動
- 2 職場安全衛生会議の役割
- 3 職場の安全・3S点検のポイント
- 4 作業開始時のKYT（危険予知）運営
- 5 職場での安全意識の心がけと自らの活動

4. 職場での労働災害

- 1 労働災害の種類を知る
- 2 労働災害の発生とハインリッヒの法則
- 3 意識しない不安全状態、不安全行動とは
- 4 災害を誘発するルール違反と変化点（4M要因）
- 5 災害発生時の真因追求と再発防止活動

5. 安全の感性を高める

- 1 危険と感じる感性を養う
- 2 不安全箇所の抽出のポイント
- 3 ヒヤリ・ハットの提案と現場改善活動

6. 自らの身を守る 安全は待ったなし

- 1 安全感性と行動力を育てるポイント
- 2 見すえる・気づく・見切るで安全レベルアップ

3

ものづくり現場での改善の地力をつける 5Sから始める職場の見える化

5/19(木)

9:30~16:30

図書館 多目的ホール
(予定)

「5S」は改善活動の基本であり、「5S」ができなければ、あらゆる改善活動の成果を期待することはできないと言っても過言ではありません。そして、5S活動をさらに現場に定着させる手段が「見える化」です。「見える化」はわかり易い現場マネジメントの方法であり、誰でも一目で異常と正常がわかるような管理の仕組みづくりです。5S活動の基本からスタートし、さらに一歩進んだ工場全体の見える化を実現するための具体的な方法について事例と演習を交えて解説します。

講師 桑原 喜和

大手工作機械メーカーにて、加工と組立の自動化、生産管理システムの更新、ERPの導入、等のプロジェクトを推進。部品加工から製品組立までの全般に渡る技術・管理・情報分野での実務経験が豊富。コンサルタントとして独立し、「ケイ・サポート」を創立。生産管理・生産技術・情報システムを含む、製造全般の改善、改革、革新を支援中。

1. 5Sと見える化で現場が見違える！

- 1 5S活動の意義と見える化の効果
「見える化」≠「見せる化」
- 2 全員が一丸となって改善活動を進めるための心構え

2. まずは「5S」の基本を押さえよう

- 1 整理・整頓・清潔・清掃・躰の本当の意味
- 2 「整理」とは？ 赤札作戦で捨てる！
- 3 「整頓」とは？ 見えるようにする！
- 4 「清掃」「清潔」「躰」とは？ キレイを保つ！
【演習】5Sチェックリスト
- 5 まずは2S（整理、整頓）活動からのスタート

3. 理想的な工場が見える「見える管理」

- 1 5S活動と「見える化」との連携
- 2 何のために、何を見えるようにするのか？
- 3 2つの改善手法（PDCAとSTPD）で活動する
- 4 改善活動の行動計画は5W1Hで具体的に作成
- 5 「見える化」成功への7つのポイント

4. 工場全体で「見える化」を進めよう

- 1 工場（どこで、どのように）の見える化
- 2 生産管理（いつ、なにを）の見える化
- 3 在庫（どこに、なにが）の見える化
- 4 事務所の見える化 机の周りも例外ではない
- 5 これならできる！現場の見える化「20の事例」
- 6 IT（情報技術）を活用したさらなる見える化

4

現場で役に立つ品質管理手法の使い方を学ぼう 明日から使える品質管理の基礎と実践

6/16(木)

9:30~16:30

図書館 多目的ホール
(予定)

ものづくりに関わる企業にとって、品質問題は会社の存続をも決定づけてしまいます。にもかかわらず品質問題が次々と市場で発生するのは一体なぜでしょうか。この講座では品質管理（QC）の基礎スキルや現場で使える品質の見える化手法を学ぶと共に、ものづくりの基本となる現場での品質活動の考え方を学びます。さらに、いま話題のIoTと品質管理や品質トレーサビリティについても触れます。講義だけでなく簡単な演習も取り入れています。

講師 中居 仁司

事務機メーカーで複写機の開発設計とタグチメソッドの社内普及活動に従事。電機メーカーに転職後はレーザープリンターの研究開発と製品化を担当。研究開発・製品化・生産立上げ・開発企画を幅広く経験。退職後は岐阜高専産学官連携アドバイザーや、キャリアコンサルタントとして活動中。専門分野：品質管理、金属材料、人材育成、キャリア開発

1. 品質の重要性を考える

- 1 日本の製造業で最近、品質問題が多いのはなぜ？
- 2 品質管理・品質検査とは
- 3 品質活動が会社を支える
- 4 お客様満足の「お客様」は誰？

2. 品質活動の基本を理解する

- 1 品質改善活動とPDCAサイクル
- 2 品質改善活動を進める上の4つのポイント
- 3 QC的問題解決法
- 4 QC七つ道具、新QC七つ道具の使い方

3. 品質管理の基礎知識

- 1 見える化の第一歩はグラフ化
- 2 平均値と標準偏差に注目
- 3 工程能力指数とは
- 4 管理限界と規格幅

4. 品質活動の進め方

- 1 品質トレーサビとは？ IoTでデータを活用
- 2 品質活動の全社展開
- 3 もしも品質問題が起きたら
- 4 まとめ

*電卓をお持ちください。(スマホでも可)

さまざまな日常業務の中で現場リーダーには、利益と儲けのちがいを理解し国内のみならず海外との企業競争に勝ち抜くため、自分達がつくりだす製品の付加価値に気づき、原価改善活動の向上・高度化が求められています。本講座では原価低減の考え方をわかりやすく解説し、具体的演習もまじえ現場で直ちに実践・展開できる考え方を身につけます。

講師 奥野 泉

大手情報通信機メーカーで通信システム設計など広く技術分野の業務に従事後営業畑に転向、岐阜支店マネージャー、系列会社中部支店長などを歴任し広範な実務経験・ノウハウを持つ。技術・営業場面の実践的な仕事に精通し、技術思考に基づく営業・会計分野の見方に特異性を持つ。

1. やさしい原価と利益の話

- 1 原価と利益及び儲けの違い
- 2 原価改善活動の重要ポイント3つ
- 3 採算判定ができる付加価値会計
- 4 コスト分解による原価低減の切り口

2. 品質・在庫と原価構造

- 1 市場と原価低減活動
- 2 ものづくりの標準的原価構造
- 3 付加価値を測るモノサシ
- 4 モトの取れる販売個数の計算 【演習】

3. コストの見える原価計算

- 1 自分の1時間人件費と自部門費率
- 2 現場におけるコスト見える化
- 3 失敗コストを金額で把握してみよう
- 4 外注費でよくある勘違い 【演習】

4. 静かに増える見えない原価

- 1 現場の盲点 機会損失・機会費用・埋没費用
- 2 外注費・LT・生産性
- 3 なぜ在庫は嫌われるのか
- 4 在庫改善の押さえどころ

※ 電卓・定規（20cm）を持参ください。

今年度新コース(経験型講習) LEGO[®]ブロックで 遊びながら学ぶ作業改善

※LEGOはレゴジャパン株式会社の登録商標です

8/25(木)
9:30~16:30
図書館 多目的ホール
(予定)

改善(カイゼン)は、なかなか上手くいかないものです。今回はピンボード、レゴブロックなどを実際に組立作業の実習をします。実際に作業改善に必要な時間観測手法、問題点の発見方法を体験します。実習では作業員、監督者の役割をロールプレイしますので、作業員からみた監督者、監督者からみた作業員の立場を経験できます。お互いの立場を認識し尊重することで、明日からの職場の活性化にもすぐに役に立ちます。

講師 西村 栄昭

ファクス・プリンタの製造・生産技術の業務に従事。海外生産の支援を担当し支援先は10カ国以上。マレーシアに6年間駐在し技術部門責任者を経験。現在は製造業DXを広く推進するために、社内の活動のみならず社外団体でも活躍中。社)IM幹事、社)中部E協会では専門委員を務める。現職はブラザー工業(株)製造企画部グループマネージャ。

1. ゲンバってなんだ？

- 1 ムリ・ムダ・ムラ はなぜ起こる
- 2 筋肉痛は改善のチャンス到来のサイン
- 3 動作の要素は9要素

2. カイゼンとはなんだ？

- 1 現実を診る目
- 2 あるべき姿 理念・原理・原則 と 目的・目標
- 3 カイゼンがすすまない本当の原因
「問題ないです」が本当の問題です

3. ピンボード組立実習

- 1 まずはやってみよう
- 2 作業順序と作業効率
- 3 カイゼン提案とはなにか？

4. LEGOブロック組立実習

- 1 工程設計をして実際にやってみる
- 2 時間観測を実際にやってみる
- 3 問題の着眼点をまなぶ
- 4 実際に改善して効果を確認してみる

5. 実習の気づきとまとめ

※軽作業をしますので動きやすい服装でお越しください

コンプライアンス（法令順守）と情報セキュリティは企業活動、社会生活の基本です。対応を誤るとあなたの職場を壊してしまうだけではなくあなた自身も大きな被害を受けます。これを防ぐには正しい対応方法を知り、我が身は自分で守らなければなりません。本研修では身の回りで起こり易い具体事例をもとに、コンプライアンスにて適切な対応方法と法規制内容を、情報セキュリティにて自分達の職場で即できる具体的な対策や行動を分かり易く解説します。

講師 野田 直司

FA機器メーカーにて電子回路や基板の設計、ソフトウェア開発、現場での製品立ち上げ、さらには品質保証やクレーム対応を担い、製品デリバリの川上から川下およびその周辺と幅広い分野の実践経験を持つ。2019年度から岐阜高専産学官連携アドバイザーとして、実務体験を活かしたコンプライアンスと情報セキュリティに係るテーマを支援している。

● コンプライアンス（法令順守）

1. 法令順守はなぜ必要か

身近な不祥事とその結末から学ぶ

2. 職場の仲間どうして守ること
3. 職場（組織）の一員として守ること
4. 社会生活を営む個人として守ること
5. 解説編

● 情報セキュリティ

1. 情報セキュリティとは何か
2. 社会人としてのセキュリティ心得
3. メールのセキュリティ事故
4. テレワーク、ビデオ会議での注意事項
5. スマホのセキュリティ確保
6. ウィルスに感染したら・情報が漏れたら
7. 情報セキュリティ チェックシート

NO.	講座名称	講師からのひとこと
1	現場リーダのスキル向上計画	リーダーシップとは何かを学び、自分のスキルの強み弱みを洗い出して今後のスキルアップ計画を立てましょう。
2	職場の安全活動推進と管理	あなたの職場・仕事って安全ですか？そう思っていないか？あなたの周りに潜む危険を知って、災害から身を守るヒントを学びましょう。
3	5Sから始める職場の見える化	やらされている5Sから全員参加の活動に変革し、職場のいろいろな見える化を実現する方法を提案します。
4	明日から使える品質管理の基礎と実践	平均値・バラツキのどちらに着目すべき？、改善活動の進め方はどうするの？、など品質活動の基本を学びます。
5	現場でおさえる原価・在庫の知識	会計や管理用語に惑わされず、自身と自社の「実利」に貢献する「気づき」とその見える化のお話です。
6	LEGO®ブロックで遊びながら学ぶ作業改善	日業の業務でやりにくいと感じたことはありませんか？その気づきをカイゼンにつなげるのが本講座です。みなさんとブロックで楽しみながら進行していきます。
7	コンプライアンスと情報セキュリティの基礎	職場のコンプライアンスを見直してみましょう。情報セキュリティの基本を理解しておくのは大変重要です。そしてスマホのセキュリティは大丈夫ですか？

【コロナ感染防止対策】

- 受講前2週間以内に海外渡航歴がない方のみを受講可能といたします。
- 受講前2週間の体調記録表を提出願います（受講責任者に記録表を配信します）
- 受講日の朝、自宅にて検温し平熱をご確認の上受講願います。
- 受付時に検温し、37.5℃以上の場合は入場を控えていただきます。
- 講師及び受講者共にマスクを常時着用するものといたします。
- アルコール消毒液を講義室の内外に準備いたします。
- 受講者数に応じて会場でのソーシャル・ディスタンスを確保いたします。
- 講義中も常時換気いたします。

【広域図】



【最寄バス停・駅】

■岐阜バス

岐阜高専バス停	徒歩 0分
高砂町バス停	徒歩10分
モレラ岐阜バス停	徒歩12分
上真桑バス停	徒歩15分

■樽見鉄道

北方真桑駅	徒歩12分
モレラ岐阜駅	徒歩12分